

産業経済部長の仕事宣言！

産業経済部長 詫 間 聡

1 基本姿勢（部の運営方針）

産業経済部の担当は、農林・商工振興・建設の3分野について担当しています。

農林行政については、施設整備や機械導入、農地集積などを進めるとともに、農産物の地産地消や消費拡大などを推進します。

商工振興行政については、新たな産業の受け皿となる新産業集積エリアを整備し、雇用機会の確保、税収の確保などに努めるとともに、市内立地企業との意見交換や訪問により市内企業の支援を行います。

また、商店街の活性化のための方策や支援を行うとともに学会や文化・スポーツなどコンベンション誘致に努めます。

建設行政については、主要幹線道路の国道・県道の効果的・効率的整備を関係機関と一体となって道路整備推進に取り組みます。

また、市民にとって身近な生活道路や小学校通学路の交通安全対策に重点をおいた取り組みを進めてまいります。

2 重点事業の概要（リープロ 11）

●リープロ 11 の名称〔活力とにぎわいのあるまちづくりプロジェクト〕

地元農産物の地産地消や地域ブランド化などを推進します。また、新たな産業用地の整備を行うとともに商店街活性化の方策・支援やコンベンション誘致を進めます。

○リープロを達成するための取り組み項目

- ・地産地消の取組みを進めます [農林課]
- ・地域ブランドの強化を図ります [農林課]
- ・新産業の集積を図ります [商工振興課]
- ・魅力ある商店街づくりを進めます [商工振興課]

●リープロ 11 の名称〔安全・安心・快適な道路づくりプロジェクト〕

歩行者と自動車を分離する通行帯の整備により、市民や来訪者の方々も、風景を楽しみながら安心して散策しています。また、ドライバーは幹線道路が整備されたことにより、交通渋滞が解消され、目的地へ快適に向かっています。

○リープロを達成するための取り組み項目

- ・生活道路の整備を行います。 [建設課]
- ・国道・県道の整備を進めます。 [国道・交通対策課]
- ・機能を重視した効率的な道路整備を進めます。 [建設課]
- ・モデル地区による生活道路整備の取組を進めます。 [建設課]

3 重点事業の具体的取組内容（リープロ 11）

○リープロ 11 の名称

1. 活力とにぎわいのあるまちづくりプロジェクト

① 指標

給食における地元産品使用率の向上	現状：9.8%	⇒	H27年度：20.0%
認定農業者数の現状維持	現状：65経営体	⇒	H27年度：68経営体
家族経営協定割合の向上	現状：19%	⇒	H27年度：35%
製造品出荷額の増額	現状：3,820億円	⇒	H27年度：4,020億円
中心商店街空き店舗率の減少	現状：12.3%	⇒	H27年度：5%
観光施設・イベント等の集客数増加	現状：929,606人	⇒	H27年度：1,200,000人
シカト観光研究センターの利用者数	現状：142件	⇒	H27年度：200件

2. 安全・安心・快適な道路づくりプロジェクト

① 指標

・生活道路の整備

道路新設改良（4路線 L=2,322m）	H22年度末	90m（4%）
	H25年度末	2,162m（93%）
	H27年度末	2,322m（100%）

・機能を重視した効率的な整備

長期未着手都市計画道路の見直し	H22年度末	70.5 km
	H25年度末	65.7 km
	H27年度末	64.7 km

○平成27年度に具体的に何をしていくのか

農林行政は、集落営農組織や三神地区農業改良普及センター・JA等と連携し、新規就農者の確保や担い手の育成を図るとともに、施設整備や機械導入、農地集積などを進めるとともに、農産物の地産地消や消費拡大などを推進します。

商工振興行政は、新産業集積エリアの用地取得を目指し、早期に工事着手を行いたい。市内に立地している企業訪問を行い意見交換や要望・課題などの解決に努めます。

また、商店街活性化の方策・支援やコンベンション誘致を進めます。

建設行政は、道路新設改良事業として、歩行者・自転車の「安全・安心・快適」な通行帯の確保のため、事業用地の関係者のご理解とご協力をお願いし、事業推進を図っていきます。

また、都市計画道路見直し計画により、計画変更となった区間を関係機関と協議を進め、住民説明会・都市計画審議会（市・県）等を開催し、見直しの手続きを進めていきます。